「第１回エンデュランス馬術体験会」レポート

　よく晴れた秋の空の下、初めての開催となるエンデュランス馬術競技の体験会。
当日は各地から参集した４名の方が挑戦しました。

　競技会同様の早朝 7:30 に集合し、簡単な自己紹介の後、まずは座学。
「エンデュランスとは？」というテーマで選手の目線、獣医の目線でなんとなくイメージを作った後は、実際に馬を使っての実習です。

まずは心拍のとりかた。
これを知らずしてエンデュランス馬術競技には参加できない位、大事な知識ですね。
まずは獣医の先生から聴診器の使い方と心臓の場所を教わります。
同じ姿勢で、ご自分の乗る馬の心臓であろう位置に、恐る恐る聴診器をあて耳をすまし…
すんなり聞こえた方、ずーっと目を閉じて瞑想しているかの様な方、悲喜こもごもです。

次にリーディングと速足（Trot up）の練習。
初めて会う馬ですから、コミュニケーションをとります。
普段から馬に親しまれている皆様ですが、馬と一緒に速足なんて初めて。
慣れている馬達にも助けられ、皆様クリアです。

その後は１頭づつ、実際に競技会で行われるものと同じ獣医検査を受けました。

Copyright © 2023 Japan Endurance Ride Conference. All Rights Reserved.

実際に競技で走る為には、事前に少なくとも何回かは騎乗する馬と走路を走り、練習を重ねて人と馬のコンビネーションを作り、状態の確認をします。
が、今回ご参加の皆様は、今日初めての馬でのスタートです。
乗馬クラブにはエンデュランス競技ではベテランの馬を用意していただき、既存の外乗メニューの内容での走行をお願いしました。

外乗には何度も行かれた経験のある皆様、スタートの時間になるとベテランスタッフの先導で 10km の走行に出発していきます。
待つ事約１時間半…無事に帰ってきた皆様、満面の笑顔です♪
実際に競技で使われている走路の一部を走行しましたので、普段は馬場の中でしか乗らない方だと UP-Down のある走路は刺激があったのでしょう。お天気も味方してくれました。

さて、外乗ならここで「おつかれさまでした！ありがとうございました！」で、馬にニンジンなどをあげたりして、写真を撮ったりして終わりですが…。
今日はエンデュランス馬術競技の体験会、走行後の獣医検査に合格しないと「完走」にはなりません！

さっき教わった心拍の取り方、覚えてますか？？
「この辺だったかな？？」と、心臓のある場所と教わったところに聴診器をあててみる皆様。
この時期のゆっくりした走行だったので、水を使うようなクルーイングは必要なく、
運営のスタッフも手伝って心拍をチェック、程なく獣医検査を受けていました。
練習した Trot-up も無事に披露でき、結果は全頭完走です。

終了後は閉会式。
獣医の先生からは、ご自分の獣医カードを見ながら獣医カードの説明を聞きます。
審判長役の運営スタッフから完走証の授与があり、終了しました。

終了後のアンケートでは満足度 100%、競技に挑戦してみよう！と思われた方は 3 名でした。

Copyright © 2023 Japan Endurance Ride Conference. All Rights Reserved.

終了後の雑談で一番多かったご質問は次の２つ。

「どうやったら競技に参加できるの？」
「どこに行けばいいの？」

これには正解はありません。
皆様遠方からのご来場ですし、割かなくてはいけない時間やお金の事などはご説明できましたが、競技に参加しているクラブを訪問してみる事しかできないはずです。

いつか、今回参加された方が選手でデビューする機会があったら、応援します！

これからも、皆様のエンデュランス馬術競技への興味を満たす事ができれば幸い、参加の一助になれば幸い、と願うとともに、ご協力いただきましたアラビアン・ホース・ランチ様、獣医のＳ先生に深く感謝する次第です。

協会では今後も、イベント企画を計画していきます。
楽しみにお待ちください。

ありがとうございました。

文責：日本エンデュランスライド協会　杉山

Copyright © 2023 Japan Endurance Ride Conference. All Rights Reserved.